

住吉台中学校区

学校支援地域本部だより

平成 24 年度版 NO.9



発行 住吉台中学校区  
学校支援地域本部

連絡先

080-1816-9979 (宮本)

022-376-5138 (住中)

平成 25 年 2 月 22 日



中学校



★ 地域の方による学習支援 ★

《国語の授業・毛筆》

住吉台で書道教室を開いていらっしゃる仲川典子さんに、毛筆の授業のお手伝いをさせていただきました。お仕事の合間を縫って1年から3年まですべての学年の授業に入らせていただきました。ひとりひとりに目を配りながら、細かい指導をしていただきました。



★ 学校支援地域本部 学習会 ★

現在、仙台市内 46 校の小中学校で学校支援地域本部の活動が実施されています。

1 月 17 日 (木) 各学校で活動しているスーパーバイザーやコーディネーターが集まり、自主学習会が開かれました。これは日頃の活動の情報交換をすることで、悩み、疑問の解決や今後の活動の参考にしようというものです。この日は 13 校の参加がありました。

学校支援地域本部の活動内容は、生徒の人数や学校環境、地域性などにより各学校様々ですが、他の学校がどのように活動しているのかは大変気になるところです。

皆さん共通していたのは、地域の子どもは地域で育てるという意識をもって取り組んでいることでした。学習会で得た情報を活力にして、これからの活動に生かしていきたいと思います。





# 小学校



## ★オオムラサキ展示会行われる★

1月17日から1週間、地域の「オオムラサキの舞うふる里を育てる会」のご協力をいただき、展示会が行われました。住吉台小学校では、平成3年から、中庭の飼育小屋で「オオムラサキ」を飼育しています。また、4年生以上の希望者が「オオムラサキクラブ」に入り、日々飼育観察をしています。

今回は、3メートル近いアルミの模型や、成長過程の写真、泉ヶ岳にエノキを植樹した活動の様子、「4令幼虫」（幼虫の成長過程は1令～6令まで。学校HPのオオムラサキ参照）が展示されました。



間近に見る大きな模型に驚き、葉っぱに乗っている幼虫を一生懸命探す子、本を手にとってみる子など、子どもたちも興味深々。

仙台市で唯一、国蝶オオムラサキを育てている学校として、これからも地域の方にご指導いただきながら、オオムラサキの舞うふる里を目指していきましょう。

## ★6年生 ゲストティーチャー★

1月21日、5・6時間目、卒業を間近に控えた6年生が『防災について』学びました。学校に保管してある「防災備蓄品」の棚卸しをし、連合町内会会長 藤原さんにご講話いただきました。

「地域には約8千人。そのうち小学生以下・高齢者が1580人。4千人は日中不在。万一、日中に災害が起きた時には、中学生の力がとても役に立つ」というお話、「地域行事が盛んな地域は、災害時にも強いという統計があること」、「6年生の可能性は無限。これから様々なことに直面してもくじけない心で頑張ってもらいたい（二歩後退 一歩前進）」とのメッセージをいただきました。



また、6年生が棚卸しした備蓄品は、85名が2往復しても運びきれない量でしたが、反面、アルファ米は1200食しかなく、中学校と合わせても2400食。だからこそ、各家庭での備えも必要であること「自助・共助」という言葉も学びました。

今回の授業には、中学校の千葉校長先生、元住小校長先生の古橋信彦さん（現：防災学習研究所 所長）、東3丁目町内会長の濱岡さんにご参観いただき、6年生の活動を見守っていただきました。

小学校のHPから学校支援本部にお入りください 活動の様子や防災備蓄品がご覧になれます